

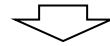
日本医師会生涯教育講座申請等について（熊本県医師会）

【申請手続について】

日本医師会生涯教育講座申請につきましては、申請書とプログラムをご提出ください。
申請書につきましては熊本県医師会ホームページ（<http://www.kumamoto.med.or.jp/>）よりダウンロードできます。

1. 申請者は、必ず医師（専門医会長、研究会代表世話人、当番世話人等）である事。
（初回の申請の場合、構成メンバーや会則等の書類の添付をお願いします）
2. 単位については、基本的に1時間1単位1カリキュラムコードです。
ただし、講習会等の構成の自由度を保つために、最小単位は30分0.5単位1カリキュラムコードより付与することができます。
3. 1日の取得単位の上限はございません。
4. 単位及びCCは演題ごとに設定をお願いします。

例1：2時間30分の講習会で演題が「高血圧症について」60分、「糖尿病について」60分、「在宅医療について」30分の場合



高血圧症（CC74）を1単位
糖尿病（CC76）を1単位
在宅医療（CC80）を0.5単位

※単位数の配分は、実際の講演内容や講習会の趣旨（集中講座など）に応じて主催者が決定できます。

【添付するプログラムについて】

- ・「単位数」、「カリキュラムコード番号・コード名・単位」の記入をお願いします。
- ・製品の説明については、「情報提供」と標記し、薬品等は商品名ではなく、一般名称を記すこと。また、説明者の企業名は標記しないこと。
- ・本会理事会での審議前なので「（案）」を記入すること。

【申請の種類、提出期限等について】

申請の種類	提出期限	決定事項
1. 熊本県医師会との共催	本会との協議が前提の為、企画の段階で提出	理事会での審査
2. " 後援	講演会開催日の2ヶ月前に提出	"
3. 単位申請のみ	講演会開催日の1ヶ月前に提出	※決裁による審査

※「1」「2」は、審査後に①本会会誌・②ホームページ掲載・③ご案内状配布（郡市医師会経由）により、会員へ周知をしております。（③の周知方法をご希望の際は、準備枚数等を事務局までご確認ください。）

※「3」につきまして、企業が関係する講演会等は、過去に認められたもののみ決裁を以って決定されます。初回の申請はお受けしておりません。（学会等を除く）なお、周知は致しませんのでご了承下さい。

【参加証明について】

本会で承認された講演会については、下欄の方法で単位を付与しております。

参加証明方法	証明内容の詳細
1. 出席者の登録	参加予定者が県内である場合、名簿（芳名録）の提出をお願い致します。 ・名簿の提出については、「参加者が記載されたもの」、「本会名簿様式（Excel ファイル）に入力されたもの」等どちらの方法でも構いません。 ・名簿提出時には医師、コメディカルに区別した数を記載して下さい。 <u>なお、判読不明及び入力ミスの氏名については単位入力が出来ませんので、ご注意ください。</u>
2. 参加証の発行	参加予定者が県外を含む場合（学会等）

※「1」「2」の両方に該当する場合は、本会事務局までお申し出下さい。

【その他注意事項】

会員に公平かつ公正な講演内容であるため、下記事項はご了承ください。

1. 特定の医療機関の囲い込みとなるような企画
2. 企業の宣伝・営利目的が強い内容
3. 企業の単独主催による講演会
4. 開催場所は医師会共同利用施設やホテル等会員が参加し易い公共施設で行うこと。
5. 研修会や講演会主催者の学術性を尊重するために、会則や規則等は主催者の立場と、連絡先を必ず明記して県医師会との連携を密にすること。
6. 申請書は押印された原本を提出すること。

※ご不明な点は申請時、事務局までお尋ね下さい。

日本医師会生涯教育講座 単位申請の流れ
(フローチャート)

県医師会へ申請

申請者
(医会、研究会等)

(申請)

申請種別

- ① 県医師会と共催
企画の段階より県医と協議
- ② 県医師会が後援
2ヶ月前の申請
- ③ 単位申請のみ
1ヶ月前の申請

(講演会終了後、県医師会に出席者報告)

【お願い】

- ① 名簿(芳名録)提出の際は、出席者数(医師・コメディカルに区別した数)の記入をお願いします。
また、判読不明の文字・入力間違いなどご留意の上
ご提出をお願い致します。
- ② 年度末開催分の報告については、単位入力の都合により、4月の第1週までにご提出下さい。



熊本県医師会

理事会

申請種別①、②については本会にて審査後、熊医会報・県医ホームページ・ご案内状の配布(主催者作成)等で会員へ周知

(出席者名簿提出後、単位を入力管理)

講演会ご案内 見本

講演会名(案)

日本医師会生涯教育講座 ○単位

取得カリキュラムコード 番号・コード名

単位数・カリキュラムコードについて

①単位については、演題 30 分につき 0.5 単位です。また、カリキュラムコードは最小単位を 0.5 単位 (30 分) より指定できます。また、取得単位数の上限はございません。

※単位・カリキュラムコードは、**演題ごとに**設定された単位の合計とカリキュラムコードを記載下さい。

日時：平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 〇〇：〇〇～〇〇：〇〇

会場：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

住所〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 TEL〇〇〇-〇〇〇

情報提供 「 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 」

薬品名は商品名ではなく、一般名で記載。
企業名は記載しない。

一般講演 「 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 」
(取得カリキュラムコード) 番号・コード名・単位

演題ごとにカリキュラムコードの番号・コード名・単位の記載。

特別講演 「 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 」
(取得カリキュラムコード) 番号・コード名・単位

熊本県医師会との主催・共催は、計画の段階で医師会と共同で企画したものに限る。

{ 主催 〇〇〇〇、〇〇〇〇
共催 〇〇〇〇、〇〇〇〇

後援 〇〇〇〇、〇〇〇〇

日本医師会生涯教育カリキュラム カリキュラムコード（略称：CC）

1	医師のプロフェッショナルリズム	43	動悸
2	医療倫理：臨床倫理	44	心肺停止
3	医療倫理：研究倫理と生命倫理	45	呼吸困難
4	医師－患者関係とコミュニケーション	46	咳・痰
5	心理社会的アプローチ	47	誤嚥
6	医療制度と法律	48	誤飲
7	医療の質と安全	49	嚥下困難
8	感染対策	50	吐血・下血
9	医療情報	51	嘔気・嘔吐
10	チーム医療	52	胸やけ
11	予防と保健	53	腹痛
12	地域医療	54	便通異常（下痢、便秘）
13	医療と介護および福祉の連携	55	肛門・会陰部痛
14	災害医療	56	熱傷
15	臨床問題解決のプロセス	57	外傷
16	ショック	58	褥瘡
17	急性中毒	59	背部痛
18	全身倦怠感	60	腰痛
19	身体機能の低下	61	関節痛
20	不眠（睡眠障害）	62	歩行障害
21	食欲不振	63	四肢のしびれ
22	体重減少・るい瘦	64	血尿（肉眼的・顕微鏡的）
23	体重増加・肥満	65	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
24	浮腫	66	乏尿・尿閉
25	リンパ節腫脹	67	多尿
26	発疹	68	精神科領域の救急
27	黄疸	69	不安
28	発熱	70	気分の障害（うつ）
29	認知能の障害	71	流・早産および満期産
30	頭痛	72	成長・発達の障害
31	めまい	73	慢性疾患・複合疾患の管理
32	意識障害	74	高血圧症
33	失神	75	脂質異常症
34	言語障害	76	糖尿病
35	けいれん発作	77	骨粗鬆症
36	視力障害、視野狭窄	78	脳血管障害後遺症
37	目の充血	79	気管支喘息・COPD
38	聴覚障害	80	在宅医療
39	鼻漏・鼻閉	81	終末期のケア
40	鼻出血	82	生活習慣
41	嗄声	83	相補・代替医療（漢方医療を含む）
42	胸痛	0	最新のトピックス・その他

※同一カリキュラムコードを重複して取得しても加算されません。